

SCD遺伝子型頻度

地域	頭数	遺伝子型の頻度	
		A型	V型
庄原生まれかつ3代祖に広島県有種雄牛が存在する和牛	101	0.74	0.26
A	38	0.67	0.33
B	38	0.51	0.49
C	36	0.51	0.49
D	39	0.54	0.46
E	40	0.19	0.81
F	17	0.65	0.35
G	45	0.78	0.22

庄原生まれかつ3代祖に広島県有種雄牛が存在する和牛：広島県立総合技術研究所調べ
A～G：関西畜産学会報 第164号より引用

上記表からの考察

- ・和牛肉では、「不飽和脂肪酸割合」が高いほど、脂質の良い肉とされ、口溶けや風味が良くなることが知られている。
- ・黒毛和種はSCD (stearoyl-CoA desaturase) 遺伝子について、AA型・AV型、VV型のどれかを持つが、A型を持つほど、不飽和脂肪酸割合は高くなる。
- ・比婆牛は、他の地域と比較してA型を持つ頻度が高く、不飽和脂肪酸割合について、遺伝的に高い能力を持つ。